

## ごみかんよりお知らせ



「出来立てのビールが廃棄処分されるの?!」と、年明け早々気をもんだ方もおられたのではないのでしょうか? サッポロビールの新商品(ファミリーマートと共同開発)のデザインの一部に誤標記があることに、なんと出荷直前に気がついたんだそう。焦ったでしょうねー、お察しします。

そして1月8日に発売中止のニュースが流れるや否や、「廃棄処分にしないで」「売ってほしい」と多くの消費者から声が寄せられ、サッポロビールは方針転換。13日には発売中止の決定を取り消し、全国のファミリーマート約16,300店で2月2日から発売するとプレスリリースしました。Lager BeerがLagar Beerになっているものの、中身に問題なし。やれやれ食品ロスにならなくてよかったですね。新年早々のビックリニュースでした。(E)

### \*いこの\*のつづや記

↑この新発売のサッポロ缶ビールのスベル間違い事件、面白いですよ。印刷物を作る立場の者として、新商品が出荷される直前に「eがaになってます!」と報告を受けた担当者の気持ちを思うと「顔面蒼白どころか、へたり込んでしまったのでは。しかし、ニュースが流れるやいなや救世主現る! 廃棄の決定をくつがえしたのが「消費者の声」だったというのがいいですよ。ツイッターでは「#EじゃなくてもAじゃないか」というハッシュタグ(検索目印)を付けた投稿があふれたそうです。思っても黙っていたら無力! 声を上げる、言葉に表せば微力だけど無力じゃないし、集まれば大きな力になることを、また思い知りました。今回のこともそうですが、若い世代は短い文章で気持ちを伝え、主張するのがとても上手だと思います。

私もの一年、一人時間が増え、ユーチューブで若い人から様々な「コーチ」を受けています。「テニスのレッスン」「ニュースの深読み」「料理のコツ」「音楽の解説」「身体の不調からの脱却」「おしゃれな山歩き」:彼らは若くてもプロであり専門家。言葉もわかりやすく動画も見やすく、コンパクトにまとめて、実に役に立ちます。話は戻りますが、九死に一生を得た「サッポロ★開拓使麦酒仕立て」。ビール好きの私も、発売日にはファミリーマートに駆けつけます。これだけ宣伝されたらよく売れるでしょうね。担当者さん、よかったね!



数十分のユーチューブ、140字以内の制限があるツイッターや、数分間から長くても

2月21日に予定していた  
市民ごみ大学セミナーは 開催を断念しました

会場を予約し、テーマを決めて講師をあたっていましたが…開催できる状況ではなくなってきたため、やむを得ず中止といたします。予定していたテーマ「紙おむつのリサイクル最前線」は、3月発行のごみと・SUN vol.24で特集することになりました。近年、可燃ごみに占める紙おむつの比率が徐々に高くなってきています。リサイクルの動きが広がってきつつある現状を次号でお伝えします。

『コロナ対策 各国リーダーたちの通信簿』 **新刊紹介**  
栗田路子、ブラド夏樹、田口理穂、富久岡ナヲ、片瀬ケイ、クローディアー真理、田中ティナ  
光文社新書 1,144円

未曾有のパンデミックに世界がのみ込まれて1年が過ぎ、各国首脳の中には、無根拠な楽観論を振りかざす大統領、「みなさんに助けてほしいのです」と市民の連帯を促した首相など、その言動には大きな違いがあった。グラスゴー・カドニアン大学のデビット・マクガイヤー博士はこう言っている。「コロナのパンデミックで、各国のリーダーの指導力とコミュニケーション力が多いに試されることになった」と。主要国のリーダーが同じ厄災の下でどうふるまったかを、ごみかんドイツ特派員の田口理穂さんを筆頭に、各国で活躍する女性ライターたちが記録した。

- 第1章 コロナ感染ではがれた「政界の道化師」の仮面(イギリス)
- 第2章 戦争司令官が初めて見せた寄り添う姿(フランス)
- 第3章 コロナ禍で光る賢母の貫禄(ドイツ)
- 第4章 丁寧な説明を尽くした等身大の臨時首相(ベルギー)
- 第5章 専門家ファーストで黒衣に徹した政府トップ(スウェーデン)
- 第6章 アンチサイエンスが招いたパンデミック(アメリカ)

## ごみ・環境ビジョン21

年会費 = 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円  
賛助会員 10,000円(一口)

郵便振替 □座名: ごみ・環境ビジョン21  
□座番号: 00130-1-603521

- ◆ごみと・SUNのお受け取り方法は  
①ヤマト運輸のDM便  
②メール添付でのPDF配信 の二つがあります。  
②をご希望の方はメールにてお申し込みください。
- ◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。
- ◆記事を転載する場合はご連絡ください。